

伊丹市文化財ボランティアの会 火曜会通信

第46号

発行日：平成22年8月1日

発行：伊丹市文化財ボランティアの会

発行所：伊丹市千僧1丁目1番地

伊丹市教育委員会事務局内

伊丹歴史ロマン体験学習 伊丹郷町・発掘調査

門 秀子

5月29日、今回の歴史ロマン体験学習は、実際に発掘作業を体験できるとあって、参加する子ども達も、付き添いの保護者の方も楽しみにしてこられたようです。場所は猪名野神社南の宮ノ前、花摘み園があった場所です。2年後に完成予定の新図書館の建設を前に埋蔵文化物発掘調査を行っています。史料によると江戸時代のこの場所には酒蔵があったようです。

現場はすでに現在の地上レベルよりも50センチほど下まで掘り下げられ、100年以上前の地層で発掘作業を開始しました。子ども達はスコップ片手に現場に降り立ち、公園のお砂場で鍛えたスコップさばきを披露してくれました。発掘スポットは現場に点在する明らかに違う色の土でふさがれた穴の跡です。ココは昔ごみ棄て用に作られた穴だそうで、その中には割れた茶碗などが見つかる可能性が高いそうです。「ん？もしかして私たちは江戸時代のごみを探している」「江戸時代の人がこの光景をみたら『なぜ、われわれが棄てたものを現代人は必死になって掘り探しているのだ？』とフシギに思うだろうな」と思いながら掘り進めていくと、瓦のようなものが出土。あわててスコップからブラシとヘラに持ち替えて、出土品を傷めないように丁寧に土を払っていきました。



瓦、茶碗、お皿、すり鉢、植木鉢のかけらが続々と出土しました。私が掘った場所からは、瓦が、そしてその下を掘り進めると規則的に並んだ平らな石が見えてきました。あとでどうと江戸時代中期の家の基礎部分であるそうです。江戸時代、この場所には家があり、人々が生活していた。家の軒先に穴を掘ってごみ棄て場にしていた……。いろんなことがかけらと基礎石から想像でき、先人の息吹が感じることが出来たすばらしい機会でした。この発掘体験は11月にも実施されます。さて、次の発掘では何が発見できるでしょうか？

瓦、茶碗、お皿、すり鉢、植木鉢のかけらが続々と出土しました。私が掘った場所からは、瓦が、そしてその下を掘り進めると規則的に並んだ平らな石が見えてきました。あとでどうと江戸時代中期の家の基礎部分であるそうです。江戸時代、この場所には家があり、人々が生活していた。家の軒先に穴を掘ってごみ棄て場にしていた……。いろんなことがかけらと基礎石から想像でき、先人の息吹が感じることが出来たすばらしい機会でした。この発掘体験は11月にも実施されます。さて、次の発掘では何が発見できるでしょうか？

伊丹市文化財ボランティアの会では、旧岡田家・石橋家や郷町内・旧西国街道など、市内外から訪問される人たちに文化財のガイドを行っています。

市内の史跡・文化財のガイドについてのお問い合わせは、伊丹市社会教育課までお願いします。

(☎：072-784-8090)

有岡城跡清掃をスタート 山元 龍治

22年度の事業の一つとして定期的に「有岡城跡の清掃」を実施することになりました。我々に対するガイド依頼で最も多いのは郷町館と有岡城跡を含むAコースです。しかもJR伊丹駅に隣接する当該城跡は伊丹市の顔でもあります。市民はもちろん市外からの方々に気持ち良くご見学いただくことが肝要です。

該地区の自治会長さんにもお話いたしますと喜んでいただき集めたゴミの置き場所を教えてくださいました。箒など清掃道具もお貸し下さるとのことですが、事前に市社会教育課から貸与頂いていましたので参加者が増えた場合にはお願いしたいと思います。

スタート時に天気予報で降雨確率が40%を超える場合は中止としていました（ご承知の通り今後は小雨決行としました）。1回目の4月27日は朝からの雨でしたが、実施時間の10時には上がり当日6人が集まってくださいました。前日の風でクスノキの落ち葉などは当然としても、ペットボトルなどいろんなゴミがありました。2回目には8名に参加いただき、3回目には10名でした。徐々に人数が増えると同時に市民の注目も浴び「ご苦労さん」と挨拶をされるようになりました。

ゴミの捨ててある所にはゴミを捨て易いのです。国の史跡でもあります我が有岡城跡はいつも綺麗とは決して言えません。

萩市は確か「日本一きれいな街」を目指してキャンペーンを展開していますが、今年笠山の椿群生地（10haに25000本が自生）を観に行った序に街内を歩いて見ましたが、確かにゴミのない綺麗な町でした。萩市ができて伊丹市ができない訳はありません。綺麗な伊丹市をガイドできるようにがんばりたいと思います。ご協力をお願いします。

平成22年春季バス旅行 有本恵美子

5月18日文化財ボランティアの会より研修旅行に参加しました。当日は、幸運にも雨の予報が外れ、好天に恵まれ総勢46名、市役所前を8時出発。中国道から名神高速道路、北陸道経由へと、工事渋滞の為。急遽コース変更。新緑と真っ青が美しい琵琶湖を眺めながら一路、向源寺へと。国宝十一面観音立像は、品の有る美しいお顔。細身の体にしなやかな腰のくびれに、しばし見とれ、時間もそこそこに慌ただしく遅めの昼食（レストラン余呉湖）へと。空腹のせい少し物足りなかったが美味しくいただきました。賤ヶ岳では、久しぶりのリフトに乗り、心地よい風に吹かれ、あじさい、しゃが、ワラビ、フキ、藤の花を横目に山頂へ、頂上には賤ヶ岳合戦と戦没者の碑が



あり、見渡せば余呉湖、比良山、伊吹山、奥琵琶湖と目を見張るばかりの景勝が印象的でした。

近江聖人中江藤樹記念館では『良知に至る』（徳）『五事を正す』（貌、言、視、聴、思）我が身を反省を促す教訓でした。道の駅『あどがわ』では、閉店間際でもあり、新鮮な野菜も残り少なく、思い思いにお土産や渋滞覚悟に車中での腹ごしらえと買い物三昧。帰路、夕闇の湖西を見ながら、会長さん恒例のハーモニカ独奏。早口言葉や（健康、家族、お金、意欲、友人、役割）大事な物を改めて思い起こす機会を与えて下さったSさん案に感謝。最後に綾小路きみまろのVTRを見て笑いで若返り、思いのほか渋滞はなく楽しい一日を過ごしました。

北条早雲の生き方が教えるもの 「領民思いだった早雲の善政」(3) 濱田 辰洋

武将である以上、自分の持てる力を試したいという強烈な思いを持ち続けるのは当然です。卓越した武力、洞察力の持ち主だった早雲にとって、その思いは他の武将と比べても群を抜いていたことでしょう。一食客（いっしょくかく）では終わりたいという飽くなき向上心を抱き、常に大きな目標を掲げて戦いを挑んでいった早雲の姿からは、戦国大名ならではの激しい一面が窺えます。

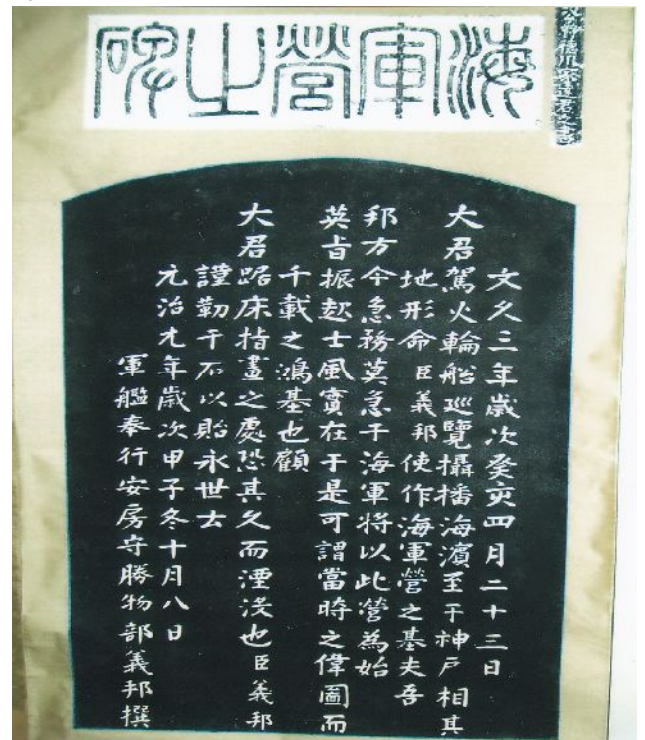
しかし、先ほど触れたように、そういう激しさの一方で、その善政ぶりが庶民に強く支持されたこともまた事実なのです。領地を拡大する早雲にとって、領地をいかに維持し安定させるかは大きな課題だったに違いありません。そのための方法の一つが領民の生活を向上させることでした。「北条記」などによると、伊豆討ち入り当時、領民の間では「風病」が流行しており、それを知るや早雲は京都や駿府から薬を取り寄せ、苦しんでいる人たちに与えたとされています。また重税に苦しむ農民たちの救援策として「五公五民」を「四公六民」に軽減し喜ばれたようです。近隣の国からは「自分たちの国も早雲に支配してもらいたい」という声が聞かれたという記録も残っています。ちなみに早雲は領内において年貢高などを算定し農民の田畑を測量する検地を行っており、太閤秀吉は後に、これを参考にしながら全国規模で実施するのです。では早雲の、そういう領民思いの一面はどのようにして培われたのでしょうか。いつの頃かははっきりしませんが、早雲は京都の建仁寺、大徳寺などで禅の修行をしています。私が調べたところによると、早雲はそこで『論語』をはじめとして「孫子」「六韜(りくとう)」「三略」などの兵法を学んでいます。建仁寺は五山文学の拠点でもあり、早雲にとって漢文はお手のものだったに違いありません。そして早雲の注目すべきは、それを座学のみならず、自

ら実践した点です。意識の根底に儒学の教えを生かした国づくりがあったのは想像に難しくないことです。兵法に関しては、小田原城攻略に当たってそれを応用したとみられます。当主の藤頼に手紙や珍品などを送り、藤頼が気を許すタイミングをみた上で、「伊豆で鹿狩りをしていたところ、鹿が小田原城の裏山に逃げてしまった」という口実を設けて一気に攻め入ったのです。機を読み取る、相手を油断させてその隙をつく。これらは孫子の兵法などから学んだと思われまます。（以下次号）

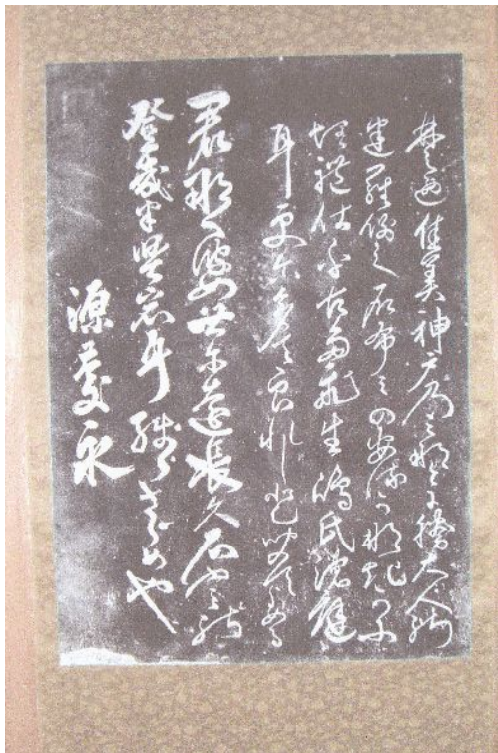
海軍營の碑 中島 壮介

歴史上で誰が一番、好きですかと問われれば坂本龍馬と答える人が多いでしょうね。人気者です。私もその一人ですがその発端は四十年程前に、たまたま四国の琴平町で“龍馬から姉ちゃんへの手紙”を見てからです。魅力的な文体ですばらしかった。

これから私の宝物を紹介しましょう。それは神戸の諏訪山公園金星台で出会った「海軍營之碑」でした。碑に吸込まれて、神戸市の許可を得て拓本を取った写真です。



表側 勝海舟の直筆で刻した「海軍當之碑」将軍 徳川家茂への威徳をたたえた文



裏側 資金援助もしていた越前福井藩主（松平春嶽侯）の和歌。（御影石にはめ込まれた砂岩に刻した碑）

前文 豊のかみ神戸港に勝大人の建てられし石ぶみのあるかなきかに埋もれしをこたび生嶋氏の庭にたてらしとききてよめる。

君なくば世に遠長く石ぶみの
 ときには堅岩にのこらざらめや
 源 慶永（春嶽侯の号）

文章が読めず苦労していましたが「神戸の史跡を歩く」の著者、藤井勇三氏の協力を得て理解出来、感謝して居ります。日本に生まれて、良かったな！

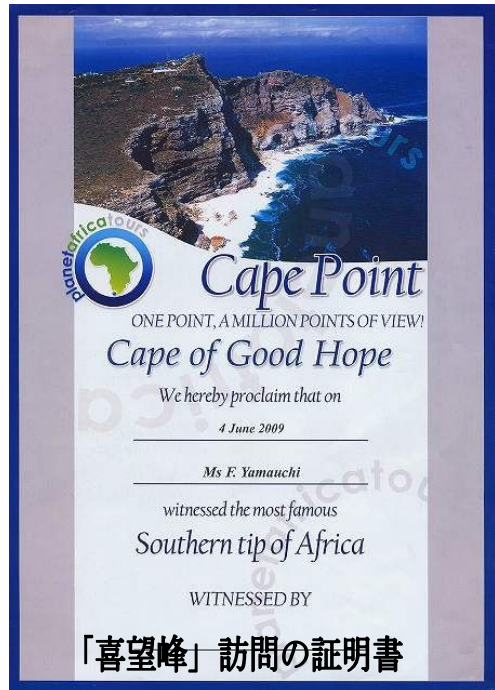
訂正とお詫び

火曜会通信 No. 45 2ページ「80の手習い」の6行目 以外にもを意外にもに訂正
 3ページ5行目 а у и Э оを а и у Э оに訂正

思い出の世界遺産 (4)

南アフリカ共和国 ジンバブエ・ボツワナ 山内富美子

今年は、南アフリカで、サッカーワールドカップが開催されたので、脚光をあびている国々である。そこで、南部アフリカの世界遺産の中から代表的な所をピック・アップして紹介したい。



南部アフリカには、自然と人類が創りあげた世界遺産が多くあるが、今回は、主に自然遺産について取り上げたい。アフリカの大自然は、人智を超えた世界である。そのナンバーワンはビクトリアの滝で、アフリカ南部を緩やかに流れるザンベジ川の中流に位置する。ビクトリアの滝は、南米のイグアスの滝、北米のナイアガラの滝とともに世界3大瀑布の一つで、現地の言葉では「雷鳴のとどろく水煙」と呼ばれている。ビクトリアの滝は、ジンバブエとザンベジの国境上にまたがっていて、そこに行くには、南アフリカのヨハネスブルグから、飛行機でビクトリア・フォールズの町まで2時間程アフリカの大地の上を飛ぶ。いよいよお目当てのビクトリアの滝は、幅が1700m、滝壺の落差が108mに及ぶ大瀑布で迫力満点。1855年にイギリスの探検家リビングストンが、この滝を発見し、当時の大

英帝国のビクトリア女王の名をとってビクトリア・フォールズと名づけた。そのリビングストンの立像が、滝の入り口にあり、それを見ていると、まだ滝の姿は見えないが、「ごうごう」という激しい音が聞こえてくる。滝の見学には、およそ2kmぐらい歩くのだが、私が訪れた6月は、雨期が終わり、空が真っ青に晴れ上がる乾期に入っていたが、水量が非常に多く、水が落下して水煙が高く舞い上がり、その水煙から降り注ぐ水は、まるで、土砂降りの雨の状態だった。もちろん、雨具を身につけ、ぬれてもよい靴に履き替え、傘をさして見学したが、見上げた空は晴れているのに、自分のまわりは雨季状態という不思議な体験をした。

滝は、悪魔の大滝、主の大滝、馬蹄形の滝、虹の大滝、肘掛け椅子の滝、東の大滝の6つの部分に分かれており、14のビューポイントからザンビアとの国境の大橋まで様々な姿を見ることができた。ただ、流れ落ちる水量と、舞い上がる水煙の多さに、天空の滝の全容を十分に認識できなかったのは、少し残念だった。

9月頃の乾期の後では、極端に水が少なくなり、「これが滝なのか？」と訪れた人が、がっかりすることもあるようだ。帰国後のビデオには、轟音とともに、迫力満点の、激しい水しぶきの中のダイナミックな滝が、ばっちり写っていたのには、満足を感じた。



次に紹介したいのは、動植物のオアシスとして知られるボツワナ国にあるチョベ国立公園である。チョベ国立公園は、ボツワナの北部にあつて、象の生息密度が世界一で、7万頭を超えるアフリカゾウが生息している。チョベ国立公園のサファリ・ツアーには、足元には囲いが無く、シート・ベルトも使えない4WDに乗って出かけ、少し危険を感じる。公園の中では、鹿に似ているインパラの群れをあちこちで見かけ、珍しい「いぼいのしし」の群れにも出会った。そして、キリン・ゾウ・ライオン・バッファロー・サルなど動物のいそうな場所へとドライバーとガイドが4WDを移動させてくれた。大自然の中で生活している沢山の動物達に直に会えたのは、感動的な体験だった。又、チョベ川のボート・サファリにも出かけ、動きの少ない、じっとしている、時には、眠っているようにみえるワニや、ほとんど水の中にからだを沈め、頭を少しだけ出しているカバの群れや、様々な色をした珍しい鳥達の姿を目で追いかける。ボート・サファリの終わる頃には、およそ40頭の象の群れが、チョベ川の水を飲み現れた光景は、サファリ・ツアーの中のハイライトであった。湿地や森や平原など変化に富んだ地形に恵まれたこの地域には、多くの野生動物や鳥達の生息が見られ、アフリカの中でも本来の自然が残っている貴重なスポットである

サファリ・ツアーの後のアフリカン・バーベキューでは、ワニ・イボイノシシ・インパラ・ガチョウ・牛などの肉が饗される。ワニが、意外にも一番おいしかった。最後に、南アフリカのケープ半島には、自然や動物の保護地区が多くあり、いかに本来の自然を大切にしているかがわかる。数千頭の野生のアザラシが生息するドイカー島へのクルーズ、ボルダーズ・ビーチのケープペンギンたちの愛らしい姿、何千種もの植物の宝庫であるカーステンボッシュ植物園、そして、アフリカ半島最南西端の喜望峰では、私の身丈以上のコンブを持ち上げての思い出は尽きない。

主な活動記録

ガイド実施記録 (2010. 05～2010. 07)

月	2010年05月		2010年06月		2010年07月		10.04～10.07 累計	
	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数
火							2	58
水			1	16	1	100	2	116
木	1	12	1	45			2	57
金	1	23					1	23
土			1	15			1	15
日			1	20			2	60
計	2	35	4	96	1	100	10	329

ガイド内容

- ・5/20(木)旧岡田家・石橋家 (県立伊丹同窓会 伊丹)
- ・5/21(金)旧岡田家・石橋家 (あるこう会 豊中)
- ・6/3(木)Aコース (第一地区民生委員 伊丹)
- ・6/13(日)Aコース (エンジェルクラブ 高槻)
- ・6/19(土)旧岡田家・石橋家 (葦水会(関大校友会) 宝塚)
- ・6/23(水)旧岡田家・石橋家 (阪神シニアカレッジ同窓会 西宮)
- ・7/7(水)有岡城跡 (歴史街道倶楽部 大阪)

どんぐり座

- ・5月の公演 5/10(月)東有岡センター (紙芝居・ペープサート)
- 5/29(土)旧岡田家 (紙芝居) 伊丹市文化財愛護少年団

歴史ロマン体験学習の支援

- ・5/29(土)発掘現場で掘ってみよう 6/26(土)洞窟壁画に挑戦 7/24(土)勾玉作り

8月～11月の予定

- ・定例会 8/10(火) 9/14(火) 10/12(火) 11/9(火) 12/14(火)
- ・幹事会 定例会の前週に開催(毎月 第1火曜日)
- ・有岡城跡の清掃実施→ 毎月第4火曜日 午前10時～
- ・歴史ロマン体験学習の支援予定
 - 8/7(土)革製プレスレット作り 9/4(土)印鑑作り 10/16(土)ミニ木棺作り
 - 11/6(土)発掘体験
- ・8月24日 わくわく教室開催 (紙芝居・ペープサート公演。勾玉づくり) 中央公民館
- ・10月24日 伊丹市ボランティアまつり参加「史跡ガイド」の予定

編集後記

今年の梅雨は西日本各地での局地的な集中豪雨で川の氾濫や崖崩れなど多くの被害がでた。次に蝉が鳴き始め「梅雨が明けた」と思ったら連日の猛暑、各地の最高気温35度超えも耳にする。地球温暖化の影響だろうか。「夏はこれからだ～」皆さん、暑さに負けず頑張りましょう。(TR)